

## 地理歴史

### 1 学習指導と評価の改善・充実

～平成17年度高等学校教育課程実施状況調査の分析結果と指導上の改善点～

#### (1) 調査の概要

高等学校の地理歴史科の3科目について、全国の高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）の第3学年の生徒を対象に、ペーパーテストと質問紙による調査を実施した。なお、ペーパーテストは、科目毎にA冊子、B冊子（ほぼ同程度の内容、水準）があり、学校はいずれか一方を選択して実施した。

各科目の調査対象生徒数及び問題数等

	A冊子 (人)	B冊子 (人)	合計 (人)	全問題数 (A、B冊子合計)	全問題のうち 記述式問題数	全問題のうち 前回と同一問題数
世界史B	5,434	5,532	10,966	67	14	14
日本史B	5,832	5,885	11,717	60	17	18
地理B	4,167	4,605	8,772	60	10	11

#### (2) 調査結果の概要

ペーパーテストにおいては、出題した全問題の中で、通過率（正答率）が設定通過率（予想正答率）を上回る又は同程度と考えられる問題が全体の問題数の半数以上を占めた。また、質問紙調査における、地理歴史科の各科目の学習に対する生徒の意識については、「地理の学習は大切だ」などの肯定的な回答の割合が、前回調査（平成15年度）より増加の傾向がみられた。

#### (3) 調査結果の主な特色と指導上の改善点

本手引では、平成17年度教育課程実施状況調査（高等学校）の結果（国立教育政策研究所教育課程研究センター）で指摘された課題の解決に向け、具体的な問題例を取り上げ、学習指導上の改善の方向性について説明する。

各科目における調査結果の主な特色と、調査結果を踏まえた指導上の改善点


	調査結果の主な特色	調査結果を踏まえた指導上の改善点
世界史B	ヨーロッパ・アメリカの国民国家形成の理解に課題資料から読み取ったり、考察し判断する問題などで無回答率が高い 「世界史の勉強が好きだ」、「世界史の勉強は大切だ」など、肯定的回答をした生徒は、前回調査より増加の傾向	日常生活、我が国の歴史、現代世界の特質に関連付けた指導 世界史を学ぶ意味を実感させる指導の一層の充実 生徒に主体的に学習させる指導の充実 バランスのとれた年間指導計画の作成
日本史B	中世社会の特色などを資料に基づいて、考察し表現する力に課題 複数の資料から歴史的事象の特色を読み取って、総合化したり概念化したりする力に課題 「日本史の勉強は大切だ」など、日本史の学習に対する生徒の意識について肯定的な回答は、前回調査より増加の傾向	自ら追究し、理解したことを適切に表現させる指導の充実 歴史的事象の考察を通じて知識を定着させる指導の工夫 複数の資料を読み取り考察させる指導の工夫 表現力を高める指導の工夫 生徒の関心、意欲を高める指導の工夫
地理B	地図化やグラフ化したりする作業的な学習活動への取組は改善 先進国と発展途上国の都市人口率とその変化についての理解に課題 「地理の勉強は大切だ」、「地理を勉強すれば、私の普通の生活や社会生活の中で役立つ」など、地理の勉強に関する意識について肯定的な回答は、前回調査より増加傾向	地域の多様性を踏まえた、現代世界の諸課題の学習の充実 市町村規模の地域の学習指導に関する一層の工夫 地域の多様性を踏まえた現代世界の諸課題の学習に関する指導の充実 地理的事象を比較や関連付けによって考察、理解させる指導の充実

○通過率（正答率）が設定通過率（予想正答率）を大幅に下回る傾向が見られた問題とほぼ同様の問題例

学習指導改善の方向性

科目：世界史B	評価の観点：知識・理解	問題の形式：求答
出題のねらい：フランス革命の歴史的意義について理解している。		
予想正答率：50%	同様の問題の正答率：28.4%	

**問題** 次の資料は、略地図のXの地域で18世紀末に起こった革命中に、国民会議で採択されたものです。この資料は何と呼ばれるか、名称を書きなさい。



**資料** 第1条  
人間は生まれながらにして自由、かつ権利において平等であり、かつそのようなものとして生存している。社会的差別は、共同の利益に基づく場合にしか設けることができない。

**答え：人権宣言**

フランス革命の歴史的意義に関する問題において、「人権宣言」を「権利の章典」と解答した者が多くみられるなど、歴史的な意義の理解が不十分であると考えられる。「ヨーロッパ・アメリカの変革と国民形成」については、ヨーロッパとアメリカの諸革命が国民国家の形成を促したことなど、歴史的意義を踏まえた指導を充実させる必要がある。また、資料等を活用して歴史的事象に対する多角的な見方を養い、歴史的思考力を培うよう配慮することも必要である。

科目：日本史B	評価の観点：資料活用の技能・表現	問題の形式：選択
出題のねらい：応仁の乱の影響が政治・社会から文化にまで及んだことを理解している。		
予想正答率：60%	同様の問題の正答率：36.7%	

**問題** 雪舟が中国に渡った年には、京都を主な戦場とした戦いが起こりました。この戦いについて述べた文として適切なものを、略年表をみて、次の1～4の中から一つ選びなさい。

政治の動き	年代	雪舟に関する出来事
	1420年	備中国赤浜に生まれる。
正長の土一揆	1428年	
永享の乱	1438年	
嘉吉の乱	1441年	
応仁の乱	1467年	大内氏の仕立てた船で中国に渡る。
	1469年	寧波から帰国する。
応仁の乱が集結	1477年	
山城の国一揆	1485年	
	1486年	「山水長巻」を描く。
加賀の一向一揆	1488年	
	1495年	弟子に「破墨山水図」を与える。
	1506年	没

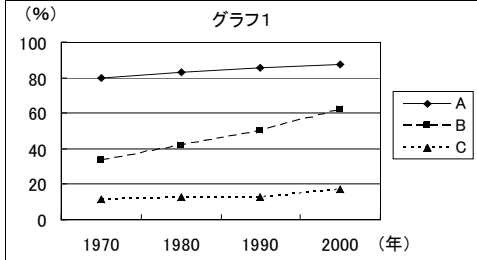
- この内乱が起きた背景には、天皇親政の復活による公家と御家人との抗争の激化がある。
- この内乱の影響で、京都の文化人が地方に避難し、都の文化が地方に伝播した。
- この内乱で、源氏が平氏を滅ぼした。
- 約100年ほど続いたこの内乱も、室町幕府3代義政の時代に集結した。

**答え：2**

経済や文化が多様化する室町時代に関する問題の結果から、応仁の乱の影響が文化に及んでいたことを読み取る力が不十分であると考えられる。このため、室町時代の政治を経済や文化と相互に関連させて理解する力を身に付けさせる指導が必要であり、産業経済の発展や下剋上などと文化の動向を関連付けて、歴史的思考力を培う指導を充実させる必要がある。その際、地理的条件ともかかわらせて、多面的・多角的に理解できるよう配慮することも必要である。

科目：地理B	評価の観点：資料活用の技能・表現	問題の形式：選択
出題のねらい：主な国の都市人口率とその変化にみられる地域的な特徴を正しく理解している。		
予想正答率：55%	同様の問題の正答率：19.2%	

**問題** 次のグラフのA～Cは、それぞれカンボジア、ドイツ、マレーシアの3か国いずれかの都市人口率の変化を示しています。A～Cにあてはまる国の組み合わせとして正しいものを、下の1～6から選びなさい



	A	B	C
1	カンボジア	マレーシア	ドイツ
2	ドイツ	カンボジア	マレーシア
3	ドイツ	マレーシア	カンボジア
4	マレーシア	ドイツ	カンボジア
5	マレーシア	カンボジア	ドイツ
6	カンボジア	ドイツ	マレーシア

**答え：3**

「居住、都市問題の地域性」にかかわる、先進国と発展途上国の都市人口率とその変化にみられる地域的な特徴の理解を問う問題の結果から、先進国と発展途上国との違いのみに着目することにとどまり、先進国間や発展途上国間にみられる多様性を踏まえた学習が不十分と考えられる。居住、都市問題などの現代世界の諸課題については、それらの問題の現れ方には地域による特殊性がみられるとともに、地域を超えた類似性がみられることから、地域の多様性を踏まえた指導を充実させる必要がある。

2 「確かな学力」を育成する取組の改善・充実

～平成17年度高等学校教育課程実施状況調査の分析結果を踏まえた指導の改善～

前頁で示した、通過率が低かった問題例の「出題のねらい」を踏まえ、学習指導の改善を図る具体的な取組について、ワークシートを活用した例をあげて説明する。

世界史

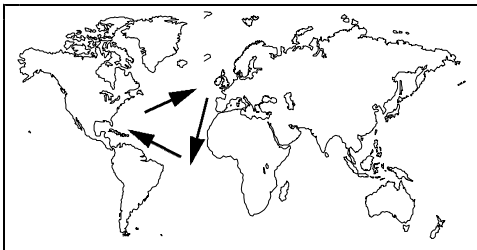
**ヨーロッパの近代国家形成への歩み**

世界史B No.20

1 ( )組( )番 氏名  
アメリカ合衆国の独立やフランス革命について習ったことや知っていることをまとめてみよう。また、フランス革命に登場した人物を調べ、まとめてみよう。

[Blank box for student response]

2 次にあげる18世紀の世界の国々や地域の位置を調べ、白地図に書き込もう。また、白地図中の矢印は何を表しているか、調べて考えをまとめてみよう。



国々や地域

アメリカ合衆国 フランス  
ドイツ イギリス 日本

矢印が表しているもの

[Blank box for student response]

3 次のA～Cの資料の出典と国名、空欄に入る語句を調べよう。

A 出典( ) 国名( ) 1776年  
われわれは、自明の真理として、すべての人は( )につくられ、一定の尊厳がたい天賦の権利を付与され、その中に生命、( )および幸福の追求の含まれることを信ずる。

B 出典( ) 国名( ) 1789年  
人間は生まれながらにして( )、かつ( )であり、かつそのようなものとして存在している。社会的差別は、共同の利益に基づく場合にしか設けることができない。

C 出典( ) 国名( ) 1945年  
すべて国民は、個人として尊重される。生命、( )及び幸福追求に対する国民の権利については、...最大の尊重を必要とする。...すべて国民は、法の下に( )であって、人種、性別、社会的身分又は門地により、...差別されない。

4 3のA～Cの資料を比較して、気付いたことや感じたことをまとめよう。

[Blank box for student response]

5 3のBの資料で示された理念をドイツやイタリアの人々はどのような思いでみていたか、想像してまとめてみよう。

[Blank box for student response]

切り取り

**学習自己評価・授業評価票**

世界史B No.20

今日の学習目標

環大西洋革命に関する資料等を活用して、アメリカ独立革命、フランス革命の関連性と世界に与えた影響などについて考察し、現代世界の特質を理解する。

学習の自己評価

授業へは積極的に取り組みましたか？(A・B・C・D)  
今日の学習目標の達成度はどの程度ですか？(A・B・C・D)  
疑問に思ったことは？  
よく理解できなかったことは？

授業評価

授業の進む速さはどうでしたか？(A・B・C・D)  
先生の説明はわかりやすかったですか？(A・B・C・D)  
ワークシートは活用しやすかったですか？(A・B・C・D)

**授業における活用**

導入

1: 中学校の学習で身に付けた知識を確認させるとともに、フランス革命の登場人物を調べ、本時の学習に対する関心を高めさせる。

展開

2: 教科書や資料集を活用して白地図を完成させ、三角貿易など、環大西洋の国々が相互に関連をもっていたことに気付かせる。

3: アメリカ合衆国の独立宣言やフランス人権宣言、日本国憲法の資料の内容を読み取らせ、自由、平等などのキーワードに気付かせる。

整理

4: 環大西洋革命が自由、平等などの理念を希求した政治変革であることに気付かせ、のちの日本に与えた影響について考察させる。

発展

5: 環大西洋革命が世界の各地に影響を与え、ドイツ、イタリアで国民国家の形成が促されたことを予想させる。

**評価票の活用**

学習自己評価

授業への取組や、目標の達成度のほか、疑問に思ったことや、よく理解できなかったことについて記入させることで、生徒一人一人の学習状況を的確に把握し、個に応じた指導の工夫を図る。

授業評価票

生徒の授業評価の結果の分析を通して、学習指導上の課題を把握し、解決に向け改善を図る。

**武家政権の展開と社会の変化**

日本史 B No. 16

( )組 ( )番氏名

1 次の図を完成させ、気付いたことを書いてみよう。また、日明貿易と日朝貿易が我が国に与えた影響を調べ、まとめてみよう。

図

明	主な輸入品 ( ) ← 主な輸出品 ( )	日本	気付いたこと  
朝鮮	主な輸入品 ( ) ← 主な輸出品 ( )	日本	

日明貿易・日朝貿易が我が国へ与えた影響

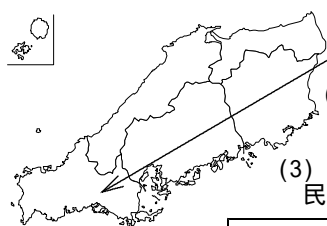
2 次の表を完成させ、気付いたことや考えたことをまとめてみよう。

表

年代	事項	幕府や民衆などの動き	発生した地域
1428	正長の土一揆		
1467	応仁の乱		
1485	山城国一揆		
1488	加賀一向一揆		

気付いたこと、考えたこと

3 教科書や地図で調べて、次の問いに答えよう。



(1) この地を本拠地とした守護大名は何氏ですか。

(2) 雪舟がこの地へやってきた理由は何ですか。

(3) 当時、朱子学が各地に広まったり、連歌が武家や民衆の間に広まった理由は何ですか。

切り取り

**学習自己評価・授業評価票**

日本史 B No. 16

( )組 ( )番氏名

今日の学習目標

日明貿易の実態や我が国の政治や経済への影響、各地で発生した一揆の背景と応仁の乱の影響などを考察することにより、中国文化と公家文化を取り入れた武家文化が完成したことや、守護大名の保護を受けて文化が地方に普及したことなど、中世社会の多様な展開について理解する。

学習の自己評価

授業へは積極的に取り組みましたか？ ( A ・ B ・ C ・ D )  
 今日の学習目標の達成度はどの程度ですか？ ( A ・ B ・ C ・ D )  
 疑問に思ったことは？  
 よく理解できなかったことは？

授業評価

授業の進む速さはどうですか？ ( A ・ B ・ C ・ D )  
 板書や説明はわかりやすかったですか？ ( A ・ B ・ C ・ D )  
 ワークシートはわかりやすかったですか？ ( A ・ B ・ C ・ D )

**授業における活用**

導入

1 中学校で身に付けた知識を確認させるとともに、本時の学習内容に対する興味や関心を高めさせる。

展開

2 教科書を活用して、一揆の背景を考察させ、室町幕府の支配体制の特徴や、応仁の乱以降の守護大名の弱体化について理解させる。

3 日明貿易による中国との交流、庶民の台頭、産業経済の発展や下剋上など、中世社会の多様な展開を理解させ、あわせて武家文化と公家文化のかかわりや庶民文化の発展など、文化の動向について理解させる。

整理

諸産業の発達、貨幣の流通、都市の形成等は庶民の台頭を促し、惣村とよばれる自治的な村落や、自治都市が形成された。これらの歴史的な事象と、各地の地理的な条件等と関連付け、多面的・多角的な歴史的思考力を深めさせる。

**評価票の活用**

学習自己評価

授業への取り組みや、目標の達成度のほか、疑問に思ったことや、よく理解できなかったことについて記入させることで、生徒個々の学習状況を把握し、個に応じた指導に活用する。

授業評価票

単元毎に、生徒の授業評価結果を実施し、その結果の分析を通して、学習指導上の課題解決に向け改善を図る。

# 1 世界の都市・居住問題

地理 B No.34

1 世界にある巨大都市（人口500万人以上）の都市名を書いてみよう。

- (1) 記入した都市の人口を地図帳の統計資料で確認してみよう。
- (2) 地図帳の資料を利用して、人口の多い順から20都市を、下の地図に書き込もう。



- (3) 世界の巨大都市の分布の特徴について述べた次の文の中から、正しいもの一つを選んでみよう。
- ア 先進国に集中している。
- イ 発展途上国に集中している。
- ウ 先進国、発展途上国を問わず世界中に分布しているが、先進国に多い。
- エ 先進国、発展途上国を問わず世界中に分布しているが、発展途上国に多い。

2 次の表のデータを利用して、主な国の都市人口比率の変化について、コンピュータを用いた折れ線グラフを作成しよう。また、グラフ上の9か国を3つのグループに分類して、それぞれの変化の特徴をまとめよう。

主な国の都市人口比率（％）					
No.	国名	1970	1980	1990	2000
1	アメリカ合衆国	73.6	73.7	75.3	79.1
2	イギリス	77.1	87.9	88.7	88.9
3	インド	19.8	23.1	25.5	27.7
4	エチオピア	8.6	10.5	12.7	14.9
5	サウジアラビア	48.7	65.9	78.2	86.2
6	大韓民国	40.7	56.9	73.8	79.6
7	ニュージーランド	81.1	83.4	84.7	85.7
8	パプアニューギニア	9.8	13.0	13.1	13.2
9	ブラジル	55.8	66.2	74.7	81.1

世界国勢図会2006/07から作成

グループ1 { ..... }

グループ2 { ..... }

グループ3 { ..... }

(グラフを貼付)

3 なぜ、都市に人々が集まるのか、また、都市に人口が集中することによって、市民の生活にどのような影響を及ぼすのか、身近な生活から考えてまとめてみよう。

4 右の写真は、タイの首都バンコクの渋滞の状況です。この状況を改善するために、あなたならどのような対策を講じますか。意見をまとめてみよう。



## 学習自己評価・授業評価票

地理 B No.34

今日の学習目標  
都市問題を世界的視野から地域性を踏まえて追究し、それらの問題の現れ方には地域による特殊性や地域を超えた類似性がみられることをとらえる。

学習の自己評価  
授業へは積極的に取り組みましたか？（A・B・C・D）  
今日の学習目標の達成度はどの程度ですか？（A・B・C・D）  
疑問に思ったことは？  
よく理解できなかったことは？

授業評価  
授業の進む速さはどうですか？（A・B・C・D）  
板書や説明はわかりやすかったですか？（A・B・C・D）  
ワークシートはわかりやすかったですか？（A・B・C・D）

## 授業における活用

導入

1: 中学校で身に付けた知識を確認するとともに、本時の学習内容に対する関心と課題意識を高める。また、地図帳を効果的に活用して地図に親しめるとともに、位置や空間的な広がりに着目させて分布の特徴を読み取らせる。

展開

2: 統計資料を利用してグラフを作成させ、班ごとに先進国と発展途上国、発展途上国間における都市人口比率の変化について意見交換させて、地域性や類似性を見いださせる。

3: 都市人口比率が高まることによって、市民の生活にどのような影響があるかを、身近な生活から考察させ、課題意識を高める。

整理

4: 資料を活用して、バンコクの都市問題について、地域による特殊性や地域を超えた類似性について多角的・多面的に追究させるとともに、その解決策についても考察させる。

## 評価票の活用

学習自己評価  
授業への取組や、目標の達成度のほか、疑問に思ったことや、よく理解できなかったことについて記入させることで、生徒個々の学習状況を把握し、個に応じた指導に活用する。

授業評価票  
単元毎に、生徒の授業評価結果を実施し、その結果の分析を通して、学習指導上の課題解決に向け改善を図る。

# Topic

## 【現代的課題への取組】「北海道の食文化」を追究する！

### 1 単元について

本単元は、地理Aの「地域性を踏まえてとらえる現代世界の課題」の「諸地域の生活・文化と環境」との関連が深い。単元の指導計画は、「主題を設定し追究する学習」の例である。ここでは、事前に提示した3つのテーマから選択したテーマの課題を追究させるとともに、他校生との交流を取り入れた授業計画例を紹介する。

### 2 単元の指導計画

科目名	地理A	単元名	(2) 地域性を踏まえてとらえる現代世界の課題 (7) 諸地域の生活・文化と環境	実施時間	7 単位時間
単元の目標		北海道の生活・文化について、「食文化」に着目して地理的環境と関連付けて追究し、生活・文化を地理的に考察する視点や方法を身に付けさせるとともに、異文化を理解し尊重することの必要性について考察させる。			
	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現	知識・理解	
単元の評価規準	北海道の生活・文化に対する関心と課題意識を高め、意欲的に取り組み、異文化を理解し尊重することが必要であることをとらえようとしている。	北海道の生活・文化に関する課題を設定し、それらを地理的環境と関連付けて多面的・多角的に考察しているとともに、世界諸地域の生活・文化を地理的に考察する視点や方法、異文化を理解し尊重することが必要であることについて考察している。	北海道の生活・文化に関する資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択・活用することを通して、それらを地理的に追究する技能を身に付けるとともに、程そつした追究・考察の過程や結果をまとめたり、発表したりしている。	北海道の生活・文化における「食文化」について世界的視野から大観して、地理的環境と関連付けて、多角的・多面的に理解するとともに、それらを地理的に考察する視点や方法、異文化を理解し尊重することを理解している。	
具体の評価規準	北海道の「食文化」の地域性に対する関心と課題意識が高まっている。北海道の「食文化」における問題の所在、課題解決の方向などを各環境条件などと関連付ける学習に意欲的に取り組んでいる。	北海道と世界の「食文化」に関する地理的事象を基にして、適切な課題を設定している。設定した課題について、世界的視野から各地域の環境条件と関連付けて多面的・多角的に考察している。	北海道の「食文化」に関する地図や画像、文書、統計などの資料を収集している。収集した資料を整理し、データのグラフ化や地図化などを通して、学習に役立つ情報として活用している。追究し考察した過程や結果を報告書にまとめたり、発表したりしている。	北海道の「食文化」を地理的環境と関連付けて考察する視点や方法を理解し、その知識を身に付けている。北海道の「食文化」について、多角的・多面的に理解し、その知識を身に付けている。	

#### 単元の指導計画

段階	時	主な学習活動	関心	思考	技能	知識	留意点
導入	1	<b>【課題設定】</b> グループに分かれて、学習課題を設定させ、それに対する追究方法を明らかにさせる。 テーマA：北海道の食文化と本州・四国・九州の食文化 テーマB：北海道の「食文化」と世界各地の「食文化」 テーマC：農産物と国際政治経済の動向					・課題選択の理由を明らかにさせる。
課題追究	2 3 4 5	<b>【課題追究】</b> 各グループに、設定した課題を追究させ、その過程や結果をまとめさせる。 ・各自がまとめた結果をグループ内で報告し、追究内容、追究方法、まとめ方などを比較検討しワークシートにまとめる。 ・グループ研究を踏まえて課題を追究し、追究した結果をノートにまとめる。 ・個人が追究した結果をグループ毎にまとめ、その結果を基にテレビ会議資料（プレゼンテーション資料）を作成する。					・課題追究の過程と結果を明確にさせる。 ・図表やグラフ、イラストを活用させる。
テレビ会議	6	<b>【発表と検証】</b> 学習課題を追究した過程や結果について発表させ、意見交流を通して、それを検証させる。 ・水産高校や農業高校の生徒と、ほっかいどうスクールネットの「遠隔講義」の機能を使ってテレビ会議を実施し、意見交流を行う。					・全員が発表に係われるよう役割を分擔を考慮する。
まとめ	7	<b>【単元のまとめ】</b> 意見交流を通して、理解が深まったことなどを基にして、プレゼンテーション資料を修正する。 学習自己評価票及び授業評価票に記入する。					・新たに生まれた課題や疑問をまとめさせる。